



特定非営利活動法人 平城宮跡サポートネットワーク / 会報
発行 伊部和徳 奈良市二条町二丁目9番1号 奈良文化財研究所内
〒630 8577 電話 0742 - 34 - 7713
E mail : npoheijyo@yahoo.co.jp
http://www.HEIJYONET.com

難波宮から平城京へ

今秋から「歴史街道ウォーク」

6世紀から7世紀にかけ、大陸文化伝来のルートとなった難波津から飛鳥・藤原京を経て平城京までをたどる「大阪・奈良歴史街道リレーウォーク」がことし9月スタートします。平城遷都1300年の2010年に、平城京へゴールするという息の長い壮大なイベントです。

計画では、今年9月、大阪難波宮をスタート、「仁徳天皇陵」の堺、「応神天皇陵」の羽曳野、「當麻寺と竹内街道」の葛城、「藤原京」の橿原、「蘇我氏ゆかり」の明日香村など経由して、2年半後の2010年3月、平城宮に到着します。

開催テーマは「観光ボランティアガイドと共に歴史と文化を体感しよう」。多くの人たちに大阪・奈良歴史街道への理解と関心を深めてもらい、観光ボランティア団体の交流とネットワークづくり、観光資源の再発見、観光客の誘致などを目的に開く広域的なイベントです。

NPO平城宮跡サポートネットワークなど大阪、奈良の観光ボランティア16団体が共催し、両府県の各自治体が後援する予定です。

主催者の大阪・奈良歴史街道リレーウォーク実行委員会は、両府県の人たちをはじめ、全国各地から3000人以上の参加者を期待しています。

「素晴らしい解説ありがとう」

交野市民グループが見学



大阪・交野市体育文化協会が主催する『市民教養講座』の参加者70人が1月17日、平城宮跡を見学に訪れました＝写真。

平城宮跡では、NPO平城宮跡サポートネットワークの西上和雄さん、本井建治さんらスタッフら7人が遺構展示館、東院庭園、朱雀門、第二次大極殿跡を案内しながら解説しました。

「解説はそれぞれに個性あふれ、参加者の熱心な質問にもていねいに答えていただきました。平城宮跡の歴史を1人でも多くの人に知ってほしいという熱意が伝わってくる素晴らしい解説でした」と参加者たちは感動し、同協会の多田暖那さんから感謝の手紙が寄せられました。

第5回 平城宮跡クリーンフェスティバル

4月15日(日)午後1時～1時30分 朱雀門前集合

申し込み先：NPO平城宮跡サポートネットワーク

〒630-8577 奈良市二条町2-9-1 奈良文化財研究所内

電話/ファックス：0742-34-7713 Eメール：npoheijyo@yahoo.co.jp

共 催： NPO平城宮跡サポートネットワーク 奈良文化財研究所



第 23 回平城京新春マラソン大会 雪と強風、1100 人が力走

「平城京かるた」デビュー

富雄第三小で児童らが熱戦

NPO法人平城宮跡サポートネットワークが制作したオリジナルの「平城京かるた」を使った初のかるた取り会が2月15日、奈良市の富雄第三小学校体育館で開かれました = 写真。

「朱雀門」「聖武天皇」など平城京にちなんだ絵入りの50枚の取り札はA4サイズで、ふつうのかるたの16枚分の大きさ。4年生70人が参加し、5つのグループに分かれ、8、9人ずつが向かい合って対戦。4年担任の教諭らが「世を治め大仏造りし聖武天皇」などと読み上げ、絵札の取り札にタッチした枚数で勝敗を競いました。

児童たちは本番に備えて、クラスごとに予習をしたそうで、「上の句」を読みあげられるや、すかさず絵札を見つけてタッチしました。審査員をつとめた教育文化部会の山崎多慶子さんらスタッフ10人は「かるたを作ったわれわれより、読み札の句をよくおぼえている」としきりに感心していました。

教諭らは「すばらしい体験でした。読み札の内容は、小学生には難解なものもあるが、これをきっかけに平城京の歴史に関心を持ってくれることを期待しています」と語っていました。



第23回平城京新春マラソン大会(NPO平城宮跡サポートネットワークなど後援)が1月7日、平城宮跡で開かれ、関西を中心に、茨城県から沖縄県まで過去最高の約1100人が参加しました。

一般から小学生までの男女が10キロ、5キロ、2.5キロの3部門に分かれ、平城宮跡内の周回コースを1~4周しました。この日は朝から、強風が吹き荒れ、午前10時のスタートには雪が舞うあいにくの天候でしたが、半袖、半パンツで走る小学生たちに沿道から暖かい声援が送られました。

外国語観光ガイドが研修

奈良県の外国語観光ボランティアガイド17人が2月17日、平城宮跡を訪れ、奈良時代の歴史や当時の人々の暮らしについて研修を受けました。

外国語観光ボランティアガイドは、平城遷都1300年記念事業に向けて、奈良県が募集し、英語や中国語、韓国語など外国語でガイドができる170人が応募しました。

平城宮跡など外国人観光客がたくさん訪れそうな県内各地の歴史などを学んでもらおうと、現地研修が計画されました。

平城宮跡で初の現地研修となったこの日、NPO会員の案内で全コース3時間をかけて歩きました。あいにくの雨で見学コースは水浸しでしたが、メモを取るなど熱心に見学していました。

平城宮跡には今回も含めて3回、80~90人が研修に訪れる予定です。



スタッフが試し取り

「平城京かるた」の絵札を作成したほのぼの会のメンバーや解説ボランティアら30人は2月5日、平城宮跡資料館小講堂で試し取りをした。

富雄第三小学校でデビューを前に、かるたの出来や競技ルールの点検を兼ねて開いた。

平城宮跡春の植物たち

大阪産業大学人間環境学部講師 谷 幸三

サクラの観察

平城宮跡で、春を告げる花の代表はサクラである。サクラは咲く、栄ゆ、咲き映ゆるなどに通ずるもので、「閉じられたものが開かれ、明るく陽気な状態になる」ことである。

サクラはバラ科の落葉高木。日本の野生種は 10 種、それらの自然交配種を親とした栽培品種は 300 種をこえている。日本で最も多く栽培されているソメイヨシノは、オオシマザクラ（めしべ）とエドヒガン（おしべ）の交配で生まれたものである。

江戸時代末期に江戸のはずれの染井村（現在は豊島区駒込）の植木屋から広まったもので、最初はサクラの名所、吉野山の名をとって「吉野桜」として売り出されたが、吉野山のヤマザクラと混同されるので、「染井吉野」と名づけられたと言われている。

気象庁がサクラ開花予想として発表する日別に結んだ「サクラ前線」は一番広範囲にあるソメイヨシノの開花日が基準となっている。葉より先に淡紅色の五弁花を開き、満開の時は枝を隠すくらいに咲く。

オオシマザクラは伊豆七島、伊豆半島、三浦半島、房総半島に分布しているが、平城宮跡でも見られる。

オオシマザクラの葉は、クマリンのよい香りがするので、塩漬けにして桜餅を包むのに使われる。

花の構造の観察をしたり、若葉を塩漬けにして手づくりの桜餅を作ってみよう。



満開に咲いた
ソメイヨシノ

環境指標生物のタンポポ

サクラの下で咲いているのがタンポポで、種の分布を調べることで、その地域の自然環境の変化がわかるのでよい材料として、環境省の環境指標生物に

もなっている。

タンポポは合弁花のキク科タンポポ属で、日本産の在来のタンポポは 15 種（2 亜種・2 変種）が知られており、外来種のセイヨウタンポポ・アカミタンポポ等が分布している。

カンサイタンポポやシロバナタンポポは自然のままの草地や農地に多く、外来種のセイヨウタンポポ・アカミタンポポは市街地や住宅地などの自然破壊された道路沿いの地域に見られることから分布調査をすることで、地域の自然環境がわかる指標生物になっている。

これらのタンポポを見分けるには、総苞外片が上向きなのが在来種で、総苞外片が下向きなのが、外来種であると判定してきた。

平城宮跡では在来種のカンサイタンポポ・シロバナタンポポや外来種のセイヨウタンポポ・アカミタンポポの 4 種が見られていた。

ところが、最近は見ただけで外来種と区別できない外来型雑種や在来種と間違える在来型雑種という雑種があらわれてきて、複雑化してきている。これを判定するには花粉を調べたり、たんぱく質や DNA などの化学分析をして比較していかないとわからない状態になっている。タンポポに関心を持っていただければ幸いである。



シロバナタンポポ



セイヨウタンポポ



ウソ

今年は珍しく、ウソの当たり年で宮跡近くの御陵などでフィーフィーという口笛のような鳴き声とともに美しい姿が観察されています。

今年はきっと宮跡の桜の蕾を食べに来るに違いないと楽しみにしています。桜の蕾にご注目！

寄稿：宮跡の野鳥を愛するつどい

アー、ドスコイ、平城宮跡

宮岡 功一

奈良の都や平城宮跡を大好きな相撲甚句に詠んで
みました。ドスコイやホイなどカッコ内の掛け声は、
みんなで唱和します。ご一緒にどうぞ。

「特別史跡・平城宮跡」

(アードスコイ ドスコイ)アアアア

アアアエ(アードスコイ ドスコイ)

平城宮跡甚句にとけばヨー

(アードスコイ ドスコイ)

アー古(いにしえ) 宮処(みやこ)の大黒の芝
基壇に立ちて 眺むれば(ホイ)

東は春日に 高円山

西は生駒か 信貴の山(ホイ)

はるか南に大和三山 青垣めぐる 平城山の連峰

時代は幕末 藤堂藩の(ホイ)

北浦定政 京(みやこ)を歩き

描きし図面が 平城宮の(ホイ)

大内裏の跡 坪割之図

律令政治の 華(はな)が開き

大宮人の 政事(まつり)跡(ホイ)

時代は下りて 明治・大正

宮跡保存に 私財を投げ(ホイ)

生涯捧げた棚田嘉十郎 溝辺文四郎 大和の誇り

千三百年の 時代を経たる(ホイ)

地中に眠りし 木簡・遺跡

天平歴史を 現代に伝える(ホイ)

平城宮跡ヨーホホイ

アー世界遺産ヨー

(アードスコイ ドスコイ)

平城宮跡歴史文化講座(平城宮跡サロン)

開催日:平成19年5月20日(日)

時間:午後1時から2時30分まで

場所:平城宮跡資料館 講堂

演題:平城京寺院の造営 木簡からの考察

講師:奈良女子大学 館野和己教授

申込先:奈良市二条町2丁目9番1号

NPO平城宮跡サポートネットワーク

E-mail: npoheijyo@yahoo.co.jp

Tel/Fax: 0742 34 7713

事務局

NPO法人平城宮跡サポートネットワークの名前
とマークが入ったイベント・ウェアを新調しまし
た。イベントやクリーン活動のさい会員に着用して
いただきます。 西上和雄



教育・文化部会

「平城宮跡歴史文化講演会」(年3回)「古代瓦の
拓本教室」(小学校等への出前教室) 平城京かるた
を使った「かるた大会」、平城京・宮出土の木簡を手
本に「木簡作り」などを開催します。部会員は現在
27人。気軽にご参加下さい。 山崎多慶子

環境保全部会

平城宮跡クリーン活動の19年度4~6月の日程は以
下の通りです。

活動日	集合時間	集合場所
4月15日(日)	13:00	平城宮跡朱雀門前
5月15日(火)	15:00	平城宮跡資料館前
6月12日(火)	15:00	〃

宮 繁 寿 夫

広報・企画部会

今年度も「天平のひろば」を計画通り年4回発行
することが出来ました。

「平城宮跡を彩る脇役たち」のシリーズは好評です
ので、引き続き新年度に向けて新しい企画を練って
います。ご意見、ご提案をお待ちしています。

中 井 啓 二

天平の窓

梅の花も咲き、これからは桜が咲き始め、平
城宮跡が一番華やかに彩られる季節を迎えま
す。広々とした宮跡で、春の空気を胸いっぱい
に吸い込んでください。 本 井 建 治